

やさしく かしく 元気よく



松原小だより



〒365-0043 鴻巣市原馬室2425番地

TEL:048-542-8450 <https://matubara-e-konosu.edumap.jp/>

松小 HP
毎日更新中！

児童数 403名(8月29日現在)

8・9月号



新しいワクワクを見つけよう

校長 寺島 麗王馬

39日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。

私自身、貴重な休みがあると、「何かやらなければ」「どこかへ行かなければ」と気持ち焦り、結局たいしたことせず夕方を迎え、後悔するというパターンがよくあります。そんな私も、子ども時代は、プールに行きたい、虫とりしたい、ファミコンやりたい、マンガを読みたい、とやりたいことだらけで、充実した夏休みを送っていた記憶があります。

フランスの哲学者ポール・ジャネが唱えた『年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる』という法則(ジャネの法則)は、その根拠の一つに「子どもの頃は初めて体験することばかりで、毎日が新鮮で新しい出会いや発見があるが、大人になるにしたがって、新しい経験をする機会が失われ、日々の生活に新鮮味がなくなるから」というものがあります。

時代は違えど子どもは子どもです。私たち大人と比べて「ワクワク」を見つける感度ははるかに高いはずです。一方で、「時間があってもやることがない」「暇だけど何をしたいかわからない」という子が増えているとも言われます。また、ゲームやYouTube、TikTok等のいわゆるスクリーンタイムの長時間化も問題となっています。それ自体は昔のファミコンやTVと同じで、決して否定されるものではないと思っています。ただ、それだけに依存するのではなく、他にもワクワクすることはたくさんあるよ、ということを知ってほしいのです。

特に、今まであまり触れてこなかったこと、例えば、読書(マンガも含む)やものづくり、外遊びや生き物探し、昔遊びやお祭りへの参加など、何でもいいと思います。「やらずぎらい」にならず、興味の世界を広げ、色々な「楽しさ」を幼少期に味わうことは、その子自身の視野を広げ、人間関係を広げ、人生を豊かなものにしてくれます。貴重な小学校時代、学校・家庭・地域で子どもたちにどんなワクワクを経験させてあげられるか(もちろんワクワクする授業も目指していきます)、それこそが子どもを育てる大人の力だと思っています。

学校からのお知らせ

南門の一時開放と一部通学路変更の終了について

7月の学校だよりでご案内の通り、現在、松原小学校では、令和5・6年度の2か年計画で、南校舎の「屋上防水等工事」を実施している関係で、南門を閉鎖し、7月10日（月）より一部通学路を変更する等の対応を行ってまいりましたが、2学期より、登下校の時間帯に限り、南門を一時開放します。

それに伴い、今まで通学路を変更していた通学班も、これまでの通学路を通り、南門を使用することができるようですので、お知らせいたします。

ただし、工事事務所が設置されている状況に変わりはないため、南門から昇降口付近を通過する際には安全に十分に留意するよう子どもたちに指導してまいります。また、登下校の完了後は再び南門を閉鎖しますので、ご来校の際には引き続き反対側の「正門」をご利用ください。



県道（歩道）工事に伴う信号機および横断歩道の移設について

現在、学校前の県道にて歩道を新設する工事が行われています。今回、歩行者の安全を確保するため、「松原小学校入口」交差点の信号機及び横断歩道が、北本側へ数メートル移設されることとなりました。そのため、「松原小学校入口」の手押し信号を押して登校する通学班の通学の方法が以下のとおり変更となります。（9月29日より新しい信号機が稼働する予定です）

<現在の信号機・横断歩道の位置>



この横断歩道と信号が
移設となります

<9月29日以降 信号機・横断歩道移設後のルート>



新しい横断歩道・信号

廃止

今後、新しい手押し信号で県道を横断した後、一度歩道で止まり、もう一つの横断歩道を通って南門まで歩いてくることとなります。これまでと異なり、2回横断歩道を渡ることになるため、児童への安全指導を行ってまいります。該当のお子さんのご家庭におかれましては、通学方法をご確認のうえ、お子さんへ安全な登下校についてお話いただけますとありがたいです。